

## 未就学児の保護者の意識調査の概要と結果

## 1 調査の概要

## (1) 目的

近い将来、小・中学校に通学する児童生徒の保護者（未就学児の保護者）に対し、学校適正配置についての意識を調査し、その結果を今後の学校適正配置の検討における参考とするため実施したもの。

## (2) 対象者

市内の保育所(園)、幼稚園、認定こども園のうち任意に選定した5施設の幼児の保護者

## (3) 実施方法

各施設から幼児の保護者に調査票を配布し、各施設において回収した。

## (4) 実施期間

平成30年11月1日(木)～11月9日(金)

## (5) 回答数

446件

## 2 調査結果

はじめに、こちらを読んでください。

## 〔今後の秋田市立小・中学校について〕

秋田市では、今後、少子化が進み、子どもの数が減少していくことが想定されています。これにより、現在の市立小・中学校の多くでは、児童生徒数や学級数が減少し、小規模な学校（1学年に1学級以下）が増えることも予想されています。

Q1 あなたは、秋田市立の小・中学校の多くが小規模になっていくことについて、どのように思いますか。

- ア 小規模になると問題があると思う
- イ 小規模になっても問題はないと思う
- ウ わからない

↓

問題がある	152	34.1%
問題はない	192	43.0%
わからない	102	22.9%
合計	446	100.0%

次に、こちらを読んでください。

## 〔秋田市の学校適正配置について〕

秋田市では、運動会や学習発表会などの大きな集団の活動や行事が行いやすい、運動部や文化部などの活動の選択肢が増える、クラス替えができて友だちや知り合いが増える、などの効果があることから、将来的に児童生徒数が減少しても、学校に一定の規模（小学校で1学年に2～3学級、中学校で1学年に4～6学級）を持たせることが望ましいと考えています。

Q 2 あなたは、「学校に一定の規模を持たせることが望ましい」という考え方について、どのように思いますか。（ひとつだけ選択してください。）

- ア 一定の学校規模を持つことが必要だと思う
- イ 一定の学校規模を持つことができればよいと思う
- ウ 一定の学校規模を持つことができなくても仕方がないと思う
- エ 一定の学校規模を持つことは必要ないと思う
- オ わからない

↓

必要だと思う	75	16.8%
できればよいと思う	226	50.7%
できなくても仕方がない	103	23.1%
必要ないと思う	21	4.7%
わからない	20	4.5%
未回答	1	0.2%
合計	446	100.0%

Q 3 Q 2 で回答した理由として、あてはまるものは次のうちのどれですか。（複数選択可）

- ア たくさんの友だちや仲間ができるから
- イ 部活動の選択肢が増えるから
- ウ クラス替えができるから
- エ より多くの先生に教えてもらうことができるから
- オ 合唱や球技などの大きな集団での活動ができるから
- カ 友だちと互いに競いあったり高めあったりできるから
- キ 一人ひとりに先生の目が届きやすいから
- ク 学習や学校行事などでの役割が多くなるから
- ケ ずっと同じ仲間と過ごすことができるから
- コ 地域の方々との交流の機会が多いから
- サ わからない

↓

			順位
たくさんの友達や仲間	250	19.4%	1
部活動の選択肢増える	177	13.7%	2
クラス替えができる	138	10.7%	5
多くの先生に教わる	92	7.1%	7
大きな集団で活動できる	170	13.2%	4
競いあいや高めあい	172	13.3%	3
先生の目が届く	136	10.6%	6
役割が多くなる	43	3.3%	9
ずっと同じ仲間と過ごす	50	3.9%	8
地域との交流が多い	32	2.5%	10
わからない	29	2.3%	11
合計	1,289	100.0%	

Q 4 今後の市立小・中学校のあり方に対するご意見やご要望などがありましたら、自由に記入してください。

（意見等の概要を 6 ページに記載）

### 3 結果の分析

#### (1) 小・中学校が小規模化することについて、「問題がある」と回答した保護者152人の内訳

(一定の学校規模の必要性について)		
ア 一定の学校規模を持つことが必要	46人	30.3%
イ 一定の学校規模を持つことができればよい	92人	60.4%
ウ 一定の学校規模を持つことができなくても仕方ない	12人	7.9%
エ 一定の学校規模を持つことは必要ない	1人	0.7%
オ わからない・未回答	1人	0.7%
↓		
(アまたはイと回答した理由[複数回答])		
ア たくさんの友だちや仲間ができるから	117件	22.9%
イ 部活動の選択肢が増えるから	93件	18.2%
ウ クラス替えができるから	69件	13.5%
エ より多くの先生に教えてもらうことができるから	39件	7.6%
オ 合唱や球技などの大きな集団での活動ができるから	82件	16.1%
カ 友だちと互いに競いあったり高めあったりできるから	85件	16.7%
キ 一人ひとりに先生の目が届きやすいから	12件	2.4%
ク 学習や学校行事などでの役割が多くなるから	7件	1.4%
ケ ずっと同じ仲間と過ごすことができるから	1件	0.2%
コ 地域の方々との交流の機会が多いから	4件	0.8%
サ わからない	1件	0.2%
(ウまたはエとした理由[複数回答])		
ア たくさんの友だちや仲間ができるから	1件	5.3%
イ 部活動の選択肢が増えるから	1件	5.3%
ウ クラス替えができるから	1件	5.3%
エ より多くの先生に教えてもらうことができるから	1件	5.3%
オ 合唱や球技などの大きな集団での活動ができるから	2件	10.5%
カ 友だちと互いに競いあったり高めあったりできるから	0件	0.0%
キ 一人ひとりに先生の目が届きやすいから	5件	26.3%
ク 学習や学校行事などでの役割が多くなるから	2件	10.5%
ケ ずっと同じ仲間と過ごすことができるから	3件	15.7%
コ 地域の方々との交流の機会が多いから	2件	10.5%
サ わからない	1件	5.3%

#### (2) 小・中学校が小規模化することについて、「問題がない」と回答した保護者192人の内訳

(一定の学校規模の必要性について)		
ア 一定の学校規模を持つことが必要	15人	7.8%
イ 一定の学校規模を持つことができればよい	80人	41.7%
ウ 一定の学校規模を持つことができなくても仕方ない	72人	37.5%
エ 一定の学校規模を持つことは必要ない	20人	10.4%
オ わからない・未回答	5人	2.6%
↓		
(アまたはイと回答した理由[複数回答])		
ア たくさんの友だちや仲間ができるから	67件	22.8%
イ 部活動の選択肢が増えるから	50件	17.0%
ウ クラス替えができるから	32件	10.9%
エ より多くの先生に教えてもらうことができるから	21件	7.2%
オ 合唱や球技などの大きな集団での活動ができるから	40件	13.6%
カ 友だちと互いに競いあったり高めあったりできるから	49件	16.7%

キ	一人ひとりに先生の目が届きやすいから	23件	7.8%
ク	学習や学校行事などでの役割が多くなるから	8件	2.7%
ケ	ずっと同じ仲間と過ごすことができるから	3件	1.0%
コ	地域の方々との交流の機会が多いから	1件	0.3%
サ	わからない	0件	0.0%
(ウまたはエとした理由[複数回答])			
ア	たくさんの友だちや仲間ができるから	5件	2.7%
イ	部活動の選択肢が増えるから	1件	0.5%
ウ	クラス替えができるから	2件	1.1%
エ	より多くの先生に教えてもらうことができるから	13件	7.0%
オ	合唱や球技などの大きな集団での活動ができるから	3件	1.6%
カ	友だちと互いに競いあったり高めあったりできるから	3件	1.6%
キ	一人ひとりに先生の目が届きやすいから	77件	41.6%
ク	学習や学校行事などでの役割が多くなるから	21件	11.4%
ケ	ずっと同じ仲間と過ごすことができるから	34件	18.4%
コ	地域の方々との交流の機会が多いから	21件	11.4%
サ	わからない	5件	2.7%

## 未就学児の保護者の意識の分析

### 【分析①】学校の小規模化に対する認識

- 未就学児の保護者は、学校が小規模化することに「問題がある」と考えるより、「問題がない」と考える割合が多い。

### 【分析②】小規模化に「問題がある」とした回答者の一定規模に対する認識

- 学校が小規模化することに「問題がある」と答えた保護者は、9割近くが学校に一定の規模が必要またはあればよいと考えている。
- 小規模化に「問題がある」と答えた保護者が一定の規模が必要またはあればよいと考える理由は、たくさんの友だちや仲間ができること、部活動の選択肢が増えること、切磋琢磨できることなどが多い。

### 【分析③】小規模化に「問題がない」とした回答者の一定規模に対する認識

- 学校が小規模化することに「問題がない」と答えた保護者は、学校に一定の規模が必要またはあればよいという考えと、学校に一定の規模は必要ないまたはなくても仕方がないという考えが拮抗している。
- 小規模化に「問題がない」と答えた保護者が、一定の規模が必要またはあればよいと考える理由は、小規模化に「問題がある」と答えた保護者と同様に、たくさんの友だちや仲間ができること、部活動の選択肢が増えること、切磋琢磨できることなどが多い。
- 小規模化に「問題がない」と答えた保護者が、一定の規模が必要ないまたはなくても仕方がないという考えの理由として、一人ひとりに先生の目が届きやすいことが突出している。また、ずっと同じ仲間と過ごすことができることも多い理由となっている。

## 4 意見等の概要

Q 4 の自由記載欄に寄せられた主な意見、要望の概要は以下のとおり。

### 1 子どもたちに目が行き届くようにしてほしいという意見、要望

- ・学校の統合により児童数が増えると、先生が目が一人ひとりに行き届かなくなるのではないかと心配である。
- ・小規模な学校の方が先生が目が届きやすくいじめが減るのではないかと。
- ・子ども一人ひとりに目が届きやすくなるよう、1クラスの人数を考えてほしい。また、先生の数減らさないでほしい。
- ・昔のように大人数でなくても、一人ひとりに目が行き届くような学校が望ましい。

### 2 通学方法（通学距離や時間）に関する意見、要望

- ・学校の統合により通学距離が延び、通学時間が多くなれば、子どもや保護者の負担が増えそうで心配である。
- ・自分が住む地域の学校に通うのが望ましいが、それが難しくなってしまう場合は、スクールバス等の整備をしてほしい。
- ・子どもの通学路、登下校の安全を確保する観点から、スクールバスを導入すべき。
- ・通学距離が長くなる子どもには、スクールバスを運行するなど、行政のバックアップをお願いしたい。

### 3 一定の規模を持つことが必要であるとする意見

- ・小学校のうちから、多種多様な考え方を持つ人と関わってほしい。たくさんの友だちと刺激し合って成長してほしい。
- ・友だちと上手に関われなかった場合、クラス替えで新たな気持ちでスタートできるとよいと思う。クラス替えができない学校に入学させることに不安を感じる。
- ・学校が近くにあれば通学は楽だが、それよりもっと多くの友人や先生などと交流することで、子どもの可能性や学力も上がると思う。
- ・小規模では部活動などの選択肢に限りが出てくるので、一定規模が必要だと思う。

### 4 小規模のままでよいとの意見

- ・子どもの数が減少していくことはなかなか改善できないと思うので、クラスが減っても、小規模の良さ、メリットを活かしていけばよいと思う。
- ・小規模な学校は、先生が目が行き届くことに加え、自分の役割が多くなる、友だち同士の絆が深まるなどのメリットがあり、あえて小規模校に通わせたい親もいる。
- ・小規模のデメリットを、他校や地域との交流等でカバーできる仕組みがあれば、一定規模にこだわる必要はないと思う。
- ・自分が小規模な小学校で6年間を過ごした経験から、小規模校の良さを知っているため、一定の規模を持たせる必要性を感じない。

### 5 その他の意見、要望

- ・共稼ぎ世帯のため、親が仕事を終えて迎えに行くまでの時間を、安全に過ごすことができる環境を整えてもらいたい。
- ・地域や住民と密着している学校は、双方に利点があるので統廃合は避けてほしい。
- ・現在の学区の考え方を見直してほしい。
- ・児童生徒数が少なくなっても、1学級の人数を減らして学級数を維持してほしい。